

# XIII その他

# 守山市歴史年表

年号	西暦	記 事
約6400年前		赤野井湾湖底遺跡で集石炉や耳飾りが発見される。
約4500年前		石田三宅遺跡で土器が見つかる。
約4200年前		古高町から大門町に所在する下長遺跡で竪穴住居から成る集落が形成される。 (石囲い炉)
約3500年前		古高町古高遺跡でムラが形成される。 川中遺跡で石器が出土する。
約3000年前		吉身西遺跡で竪穴住居から成る集落が形成される。
約2400年前		小津浜遺跡、服部遺跡で稲作が行われる。
約2300年前		矢島町寺中遺跡、三宅町中島遺跡でムラが造られる。
約2200年前		下之郷遺跡で巨大環濠集落が形成され、銅剣が使われる。 播磨田町酒寺遺跡、八ノ坪遺跡、守山町吉身西遺跡で方形周溝墓がつくられる。 播磨田東遺跡で弥生のムラができる。
約2050年前		二ノ畦・横枕遺跡でも巨大環濠集落が営まれる。
約1900年前		播磨田町酒寺遺跡で環濠集落が形成される。
約1800年前		伊勢町伊勢遺跡で政治や祭祀を行う場と考えられる大型建物（高殿、祭殿）が造られた。 中町の中北遺跡で水田が造られる。
約1750年前		播磨田東、塚之越、横江、益須寺遺跡で前方後方型周溝墓ができる。 古高町の下長遺跡で豪族の館が見つかる。準構造船、琴、儀仗が使われる。
約1600年前		播磨田町八ノ坪遺跡で衣笠が使われる。
約1550年前		阿比留遺跡で朝鮮半島系の焼き物が使われる。 播磨田東遺跡で滑石などを使った玉生産が行われる。 金森町庭塚古墳が造られる。 浮気町で松塚古墳が造られ、人物埴輪が使われた。 服部遺跡の方形周溝状遺溝にやまと琴が供献された。
約1500年前		古高町松塚古墳が造られる。 古高町狐塚古墳、幸田塚古墳が造られる。
約1450年前		勝部町の吉身北遺跡で巨大な集落が形成され、滑石などを使った玉生産が行われる。 岡町寺山古墳群が造られる。 吉身北遺跡で古墳が造られる。
安閑 2年	535	葦浦の屯倉（みやけ）の記事（安閑天皇）。 （『日本書紀』から）
天智 6年	667	天智天皇大津京に遷都。
天武 元年	672	壬申の乱 安河浜の戦いで近江朝軍大敗する。
持統 7年	693	近江野洲郡に醴泉の記録。持統天皇遣いを出し、翌年野洲郡の民の税を免ず。 『日本書紀』に益須寺があった記録。
和銅 3年	710	奈良の平城京に遷都。守山の多くは野洲郡に属す。 市域の郷名として服部郷、明見郷、敷智郷などがみえる。
天平 19年	747	『大安寺伽藍縁起並流記資財帳』に野洲郡に壘田の記録。 法隆寺壘田の記録。（近江国栗太郡物部郷）『法隆寺伽藍縁起並流記資財帳』。
天平宝字 7年	763	三宅蓮生寺の称讚浄土仏摂受経成る。
仁寿 元年	851	勝部神社が神階を受ける。（『文徳天皇實録』から）
貞観 11年	869	新川神社が正五位下を授かる。（『三代實録』から）
延喜 5年	905	「紀 貫之」もりやまを詠む。 しらつゆも しぐれもいたく もるやまは…
延長 5年	927	このころ式内社を定める。野洲郡八社九座。守山市では小津神社、下新川神社、馬路石邊神社、己爾乃神社。

年 号	西 曆	記 事
天曆 5年	951	『後撰和歌集』に守山が詠まれる。 あしひきの 山のやまもり もるやまも…
長保 3年	1001	近江国符案に中津神崎荘園が野洲南郡にあった記事。 『東山御文庫記録』
長元 2年	1029	矢島聖観音菩薩彫刻が始まり（胎内銘）長暦2年完成する。 このころ、東門院、東福寺の仏像が造られる。
承暦 3年	1079	『某荘立券文案』に小浜？の記録。（中津神崎荘） このころ金森遺跡の井戸が造られる。
平治 元年	1159	源頼朝が守山で襲われる。源内真弘が逆に首を捕られる。
元暦 元年	1184	吉水郷が『近江国注進風土記』に記載される。
建保 元年	1213	野洲新庄の記事。『華頂要略』
承久 2年	1220頃	東海道宿駅に近江森山宿が見られる。『平治物語』
弘長 2年	1262	守山宿の名が見える。『関東往還記』
永仁 7年	1299	笠原蜷江神社の鰐口が造られる。『鰐口銘文』
建武 元年	1334	吉身荘が玄観御房に譲られる。
応永 4年	1397	足利義満、欲賀郷の地を本間氏にあてがう。（本間文書）
応永 5年	1398	川田、小島、北村の「川やな」の記事。（三上神社文書）
応永 6年	1399	勝部神社造営、明応6年補修。
応永 13年	1406	近江妙蓮、足利義満に献上される。（江源日記）
応永 26年	1419	3人の僧侶が下新川神社銅鐘（和韓混交鐘）を寄進。（銅鐘銘文）
応永 29年	1422	下新川神社社殿造営。（下新川神社棟札）
嘉吉 2年	1442	大曲の己爾乃神社の経筒が造られる。（経筒銘文）
文安 元年	1444	富田荘新宮社の大般若経が寄進される。（立田円福寺） この頃、西隆寺経塚が造られる。
長禄 3年	1459	白川寺寺領として近江野洲郡明見庄の記事がある。 このころ野洲郡が南、北の二郡に分かれる。 蓮如、播磨田門徒に十字名号を下符。
長禄 4年	1460	蓮如、金森、山賀、荒見道場に方便法身尊像を下符。
応仁 2年	1468	六角高頼と佐々木政堯、守山で戦う。
文明 9年	1477	蓮如、赤野井道場に親鸞御影像を下符。
長享 元年	1487	野洲川の戦いで細川政元、高頼の軍を討つ。
明応 元年	1492	将軍足利義植、守山で一泊。『蔭涼軒日記』
大永 4年	1524	本像寺題目塔造られる。（大永四年十月廿九日 銘文）
大永 6年	1526	小津神社造営の記録。
天文 3年	1534	少林寺桐嶽紹鳳没する。（少林寺鐘銘）
天文 13年	1544	野洲川大決壊。
永禄 8年	1565	足利義昭、矢島に御所を造る。
元亀 元年	1570	立入宗継 勅使として信長を迎える。『道家祖看記』
元亀 3年	1572	金森が信長に攻められ、落城。信長が朱印状を与える。
文禄 3年	1594	勝部神社御寶殿造営。
元和 元年	1615	三宅蓮生寺本堂再建。
寛永 2年	1625	千代村が旗本渡辺茂の知行所となる。
寛永 19年	1642	守山宿に制札 このころ一里塚。
明暦 元年	1655	守山宿に朝鮮通信使宿泊。
天和 2年	1682	守山宿に朝鮮通信使の記録。
元禄 2年	1689	焰魔堂再興される。
正徳 元年	1711	守山宿に朝鮮通信使の記録。 宿場の高札ができる。東門院所蔵高札銘。
享保 15年	1730	守山宿に茶壺通過。
享保 17年	1732	享保の大飢饉。『蓮花立覚留日記』

年 号	西 曆	記 事
延享 4年	1747	旱魃30日間。『蓮花立覚留日記』
宝暦 14年	1764	守山宿に朝鮮通信使通過の記録。
寛政 11年	1799	新庄から銅鐸4口発見。
享和 2年	1802	野洲川大洪水。
享和 3年	1803	大雨、川上より出水、田中大日堂が浸水。
文化 7年	1809	赤野井別院再建。
文化 12年	1815	野洲川氾濫、笠原決壊、各地に飢饉起る。
天保 3年	1832	野洲川洪水、速野地区出水。
天保 13年	1842	天保の義民。
萬延 2年	1861	和宮様御下向、守山宿で泊。
明治 元年	1868	守山宿を廃して、守山駅とする。
明治 4年	1871	廃藩置県、守山、大津県管轄となる。
明治 5年	1872	守山郵便取扱所開設。
明治 6年	1873	守山に初めて小学校できる。(第16小学校が東門院境内に)
明治 9年	1876	守山警察署の前身、第1出張所第二屯所が設けられる。
明治 11年	1878	明治天皇、北陸、東海巡幸、往復ともに守山小学校に御小休み。 天満宮三十六歌仙絵奉納。(裏書)
明治 12年	1879	守山村に郡役所を置く。
明治 18年	1885	野洲川善岸堤決壊。守山に連合戸長役場設置。
明治 22年	1889	守山に市町村制に基づく村制施行、守山、物部、玉津、小津、河西、速野、中洲の七村できる。
明治 23年	1890	守山村消防組できる。
明治 24年	1891	野洲駅開設。
明治 26年	1893	速野村庁舎完成。
明治 28年	1895	河西尋常高等小学校校舎造営式。
明治 29年	1896	野洲川左岸野洲町善岸堤防100間決壊。立入堤防決壊、被害は玉津、河西、速野各村に及ぶ。現守山市地域の70%浸水、死者12名。
明治 30年	1897	私立鶴飼文庫設立。
明治 31年	1898	野洲郡役所を野洲村に設置。(大正15年まで)
明治 33年	1900	守山郵便局で電信業務開始。
明治 34年	1901	物部尋常高等小学校新築落成式挙行。
明治 37年	1904	野洲郡守山村が守山町となる。
明治 43年	1910	守山郵便局で電話業務開始。
明治 44年	1911	小津村立記念図書館設立。
明治 45年	1912	国鉄守山駅、営業開始。
大正 2年	1913	笠原堤防、沈潰、溺死者32名。
大正 4年	1915	玉津村立記念図書館設立。河西村立記念図書館設立。河西村庁舎完成。
大正 7年	1918	野洲川出水。
大正 9年	1920	中洲実業補習学校開校式。第一回国勢調査。
大正 11年	1922	JRC(日本青少年赤十字)発祥の地。(守山小学校)
大正 13年	1924	「守山源氏蛭」天然記念物としての国の指定を受ける。
昭和 4年	1929	赤野井郵便局、幸津川郵便局で電話交換業務開始。
昭和 5年	1930	木浜郵便局で電話交換業務開始。
昭和 9年	1934	室戸台風、野洲川鉄橋上で貨物列車転覆、野洲郡の死者4名、全壊120戸。
昭和 15年	1940	速野村、玉津村等に国民健康保険組合創設。
昭和 16年	1941	野洲郡守山町、栗太郡物部村を廃止して、野洲郡守山町が置かれる。
昭和 22年	1947	守山町警防団、守山町消防団となる。
昭和 27年	1952	町立守山保育園を町立裁縫女学校内に併設し開園。 笠原、今浜堤防決壊。 守山町中小工業融資規定できる。

年 号	西 曆	記 事
昭和 28年	1953	台風13号襲来、野洲川決壊、（今浜、洲本）死者6名。
昭和 29年	1954	ごみ収集事業一部地域で実施。 野洲川漏水対策期成同盟会が結成される。
昭和 30年	1955	守山町、小津、玉津、河西、速野村の一町四村合併し、守山町成る。 （新役場は、従来の守山町役場、今宿） 町広報創刊。 国民健康保険事業開始。
昭和 31年	1956	小津、玉津、河西、速野各保育園を幼稚園に切り替え開園。 守山町社会福祉協議会設置。 東海道本線京都・米原間電化。 玉津、小津、河西支所廃止。
昭和 32年	1957	中洲村の内、新庄、服部、立田、幸津川、小浜の大字の区域を守山町に 編入合併。 町章制定。小浜地区簡易水道給水開始。
昭和 33年	1958	吉身、勝部小学校を統合し、守山小学校と称す。 野洲川直轄調査開始。 赤野井字川端地区簡易水道給水を開始。
昭和 34年	1959	守山町立守山高等裁縫女学校を廃し、守山町立守山女子高等学校を設立。 荒見、布施野地区および水保、立田、洲本地区給水開始。 水保、立田、洲本地区簡易水道事業の給水開始。
昭和 35年	1960	守山町有線放送農業協同組合設置。 野洲川改修促進期成同盟会の設立。 河西、速野、中洲地区給水開始。 天然記念物守山源氏蛸指定解除となる。
昭和 36年	1961	守山町役場、吉身の守山小学校跡に移る。 小津、玉津、河西3出張所を廃止。 守山町ごみ焼却場を建設。
昭和 37年	1962	守山町観光協会設立。 湖南、三和、明富の3中学校を統合して守山中学校を開校。 守山町学校給食協会発足。 小津、玉津地区広域簡易水道事業給水開始。
昭和 38年	1963	湖南衛生プラント組合結成。（1市5町） 野洲川改修中洲地区貫通反対期成同盟会設立。
昭和 39年	1964	守山町、中主町、野洲町で野洲郡開発事業団設立。 守山町有線放送電話、守山町全域に通話開始。 琵琶湖大橋完成、開通式挙行。
昭和 40年	1965	守山町中央公民館完成。 「大日堂の妙蓮およびその池」天然記念物としての県の指定を受ける。 守山総合ビル（庁舎）完成。 合併10周年記念式典挙行。 台風24号襲来、野洲川決壊（新田、中島地区孤立）死者1名。 野洲川一級河川に指定とともに、直轄による改修事業に着手。 野洲川改修促進協議会発足。 守山地区上水道事業の一部給水開始（立入、岡、浮気）。町章（現在市章）制定。 町の歌募集決定。（現在の市歌）制定。
昭和 41年	1966	守山中学校全校舎総合落成、同時に体育館も完成。 木浜地先の埋立地守山町に編入。（面積43.82平方キロメートルとなる） 社会福祉法人守山町社会福祉協議会設立。 守山町立守山母子健康センター開設。 農協合併。（守山、小津、玉津、速野、中洲）

年 号	西 暦	記 事
昭和 42年	1967	守山警察署、新築。 木浜に滋賀県運転免許センター完成。 守山地区上水道布設事業完了。
昭和 43年	1968	守山町消防本部及び消防署の設置。 河西農協、守山農協と合併。 新市制実現に関する要望を町議会において決議される。 守山町文化財保護条例制定。 守山農免道路完成。
昭和 44年	1969	守山消防署発足。 野洲川新放水路用地測量調査開始。 第1回七夕まつり開催。 ごみ収集事業全域に拡大。
昭和 45年	1970	湖南1市4町による広域消防・湖南消防組合発足。 守山市発足、市役所開所式。 初代市長に北川俊一氏就任。 自治会名改正。 福祉事務所を設置。 大津湖南都市計画区域における区域区分(市街化区域、市街化調整区域(線引き))決まる。 守山音頭発表。 総合ビル別館完成。 野洲郡開発事業団から湖南開発事業団に名称変更。 交通安全対策本部、交通安全対策会議、交通安全対策協議会発足。 守山市公害対策本部発足。 吉身保育園完成。 県立成人病センター完成。
昭和 46年	1971	初代市長北川俊一氏、無投票で再選。 市立北公民館完成。市役所速野支所併設。 宮田埋立地でごみの埋立処分を開始。 ごみ収集の無料化実現。 国鉄守山駅開業60周年。 野洲川総合事務所開設。 守山市「総合発展計画」策定成る。 野洲川改修工事起工式。
昭和 47年	1972	財団法人守山市開発公社設立。 琵琶湖湖南中部流域下水道の内湖南地域の計画決定。 野洲川改修工事で川辺地区のうち24世帯移転。 守山市上水道第二次拡張事業の洲本水源地新設工事竣工。 守山市上水道第二次拡張事業の立入水源地増設工事竣工。 県立滋賀整肢園開設。
昭和 48年	1973	大津湖南都市計画公園事業・守山市民運動公園事業認可を受ける。 守山南部開発特別委員会を設置。 守山駅舎完成。 玉津保育園完成。 第1なぎさ公園完成。 市役所駅前連絡所業務開始。 第1回市民のつどい開催。 守山小学校から吉身小学校を分離することを決定。 守山市野洲郡少年センター開設。 総合ビル庁舎増築工事竣工。

年 号	西 曆	記 事
昭和 49年	1974	<p>農村施設等総合整備事業第1号中野地区ガラス温室完成。  守山開発公社が、守山土地開発公社に組織を変更。  大津湖南都市計画下水道事業・守山市公共下水道事業計画決定。  大津湖南都市計画下水道事業・守山市公共下水道事業認可を受ける。  第1回市民歩こう会。  吉身小学校校舎完成。  公共下水道事業着手。  守山市史発刊。  都市計画道路（片岡～栗東線）事業実施。  服部遺跡試掘調査始まる。</p>
昭和 50年	1975	<p>守山駅東口開発計画なる。  米国ハワイ州カウアイ郡と姉妹都市提携。  2代目市長、高田信昭氏就任。  昭和天皇・香淳皇后、県立整肢園を御視察。  守山中学校再編成審議会発足。  守山市の木に「クスノキ」、市の花に「妙蓮」が決定。  第1回スポーツカーニバル開催。</p>
昭和 51年	1976	<p>農業者トレーニングセンター完成。  守山中学校生徒増対策審議会発足。  守山市同和教育研究大会を開催。  浮気保育園完成。  小津会館完成。  玉津会館（老人憩いの家）完成。  中洲会館（野洲川改修記念館）完成。  地区会館業務開始。  第2なぎさ公園完成。</p>
昭和 52年	1977	<p>第1回施設見学会開催。  小津幼稚園、保育園完成。  守山会館完成。  県立総合保健専門学校開校。  国体・高校総体守山市準備委員会発足。  守山市民体育館完成。  河西ニュータウン第一次分譲を開始。  守山南部都市排水事業・小津学区対策協議会が発足。</p>
昭和 53年	1978	<p>吉身会館完成。  市立図書館完成。  守山北中学校開校。  守山市国土（市土）利用計画策定なる。  守山市野洲郡休日急病診療所開設。  速野会館完成。速野支所移転。  印鑑登録カード化実施。  第2次守山市総合発展計画を策定。</p>
昭和 54年	1979	<p>高田市長無投票で再選。  古高保育園完成。  びわこ国体市民運動実践協議会結成大会開催。  野洲川放水路通水式。  守山市合成洗剤対策連絡協議会結成。  54全国高校総体バレーボール競技開幕。  近江守山郵便局新庁舎完成。</p>

年 号	西 暦	記 事
昭和 55年	1980	河西会館新築移転。 守山南部都市排水事業（中小河川、守山川改修）覚書地元小津学区対策協議会と調印。 中小河川、守山川改修事業測量開始。 '80守山産業フェア開催。 市制施行10周年記念式典。市制のあゆみ刊行。 守山市民憲章の制定。 地域総合センター開設。 埋蔵文化財センター完成。 守山市民球場完成。
昭和 56年	1981	守山漁村センター竣工。 第1回びわこ現代彫刻展。 守山市障害者福祉教育センター業務開始。 新住居表示制度実施。（梅田町） 第36回国民体育大会開催。（守山市はバレーボール、軟式野球（少年男子）会場に）
昭和 57年	1982	木浜漁港竣工。 地域総合センター竣工。 守山市民病院開設。 守山女子高校商業科を設置。 新穀献納祭（米、粟）が行われる。 人工飼育による「ゲンジボタル」の羽化に成功。（鳩の森公園） ごみ指定紙袋制スタート。第1回野洲川冒険大会いかだくんだり。
昭和 58年	1983	高田市長、無投票で3選。 小津警察官駐在所、開所。 緑のもりやまを創る会が環境庁長官表彰受ける。 市の人口、5万人超す。 県立守山北高等学校開校。 サンライフ守山落成。
昭和 59年	1984	第3次守山市総合発展計画基本構想策定成る。 河西警察官派出所開所。 第1回野洲川健康ファミリーマラソン大会が行われる。 守山南中学校開校。 時計塔「ふれあいの塔」建立。 交通安全都市を宣言。
昭和 60年	1985	守山市環境センター操業開始。 中洲花き温室団地完成。 市民運動公園内に「交通園」完成。 県下初の魚つり棧橋オープン。 市制施行15周年、町村合併30周年記念式典挙行。 市農村環境改善センター竣工。
昭和 61年	1986	（財）守山市文化体育振興事業団設立。 守山商工会議所設立。 市環境センター粗大ゴミ処理施設稼動。 特別養護老人ホーム「ゆいの里」開設。 セルバ守山3階に守山駅前コミュニティホールがオープン。 市民プール完成。 守山駅前連絡地下道が完成。 守山市民ホール（市民文化会館・中央公民館）開設。 住民情報システムオンライン稼動。



年 号	西 暦	記 事
昭和 61年	1986	東門院本堂火災で、重文「十一面観音立像・毘沙門天立像」などが焼失。
昭和 62年	1987	高田市長、無投票で4選。 守山市シルバー人材センター発足。 「ほたる通り」開通。 営業ごみ収集の許可業者制スタート。 農業技術拠点施設竣工。
昭和 63年	1988	守山市、近江八幡市、中主町で「琵琶湖湖南・中部地区リゾート整備推進協議会」を設立。 吉身町で新住居表示実施。(吉身一丁目～六丁目) 野洲川廃川敷地等を取得。 県立小児保健医療センター完成。 野洲川整備公社設立。 守山市野洲郡勤労者互助会設立総会開催。 野洲川放水路記念広場オープン。 今浜婦人消防隊が全国婦人消防操法大会に出場。 「のどかな田園都市守山」平和都市宣言が議会で決議される。
昭和 64年	1989	吉身町で新住居表示実施。(吉身七丁目)
平成 元年	1989	廃プラスチック類溶融固化施設竣工。 たちばな川・案内川修景工事竣工。 市立図書館増築。 米国ミシガン州エイドリアン市と姉妹都市提携。 守山女子高等学校創立30周年記念式典挙行。 市緑の少年団誕生。
平成 2年	1990	物部小学校、守山小学校から分離開校。 物部幼稚園、守山幼稚園から分離開園。 ほたるの森資料館完成、ほたる観賞の夕べ開催。 野洲川廃川敷地の骨材採取平地化事業に着工。 市制施行20周年記念式典挙行。 宗さんといっしょに走ろう大会開催。 ねんりんピック'90ソフトボール交流大会開催。 フェスタ in野洲川開催。 野洲川地区農地開発事業起工式。
平成 3年	1991	高田市長5選。 明富中学校、守山北中学校から分離開校。 守山市国際親善協会設立。 ほたるの森資料館来館者1万人突破。 中山道宿場会議守山市で開催。 韓国 忠清南道 公州(コンジュ)市と姉妹都市提携。
平成 4年	1992	湖岸道路が開通。(木浜町―大津市大萱14.7km) 野洲川ふれあい広場オープン。 市の人口6万人を越す。 守山保育園改修工事竣工。 伊勢遺跡から全国最大規模の高床式建物跡が出土。(弥生時代後期)
平成 5年	1993	第1回環境美化推進バスを運行。 守山市福祉保健センター(すこやかセンター)オープン。 幼稚園の二年制開始。 立入が丘小学校、吉身小学校から分離開校。 立入が丘幼稚園、吉身幼稚園から分離開園。 国道477号が市内を通過。 酒寺遺跡から日本最古級の石杵出土。

年 号	西 曆	記 事
平成 5年	1993	二ノ畦・横枕遺跡から最大級の環濠集落発掘。 (守山市・野洲町の境界に広がる)
平成 6年	1994	第100回記念市民歩こう会。 調和と均衡のとれた男女共同参画型社会の実現をめざす守山市計画策定。 「もりやま芦刈園」開園。 八ノ坪遺跡から衣笠の立ち飾り出土。 琵琶湖大橋4車線化開通。 琵琶湖の水位マイナス123センチメートルを記録。 琵琶湖岸埋め立て地の果樹園でナシ・ブドウ実をつける。 今浜町で温泉がでる。
平成 7年	1995	小津神社長刀まつり保存館完成。 野洲川暫定通水15周年記念碑建立。(野洲川改修促進協議会) 3代目市長、甲斐道清氏就任。 守山市民吹奏楽団誕生。 守山駅西口エスカレーター竣工式。 もりやまフルーツランドオープン。湖岸の果樹園でナシとブドウの直売始まる。 人権尊重都市を宣言。 守山パートサテライトオープン。(現 ジョブプラザ守山) 宇野宗佑氏、森口華弘氏に名誉市民称号を授与。 北海道登別市など全国5市と災害時における相互応援協定締結。
平成 8年	1996	守山市誌自然編発刊。 守山町で新住居表示実施。(守山一丁目～六丁目) 道路10路線愛称決定。 幸津川デイサービスセンターがオープン。 ゴミの減量化、資源化を目指し市内全小学校に生ゴミ処理器設置。 豊穰の郷赤野井湾流域協議会設立。 シルバーワークプラザオープン。
平成 9年	1997	災害時の飲料水確保に、市上下水道公認業者協同組合と復旧作業協定を締結。 守山市誌教育編発刊。 市放置自転車等の防止に関する条例を施行。 全市域でのペットボトル分別回収開始。 近江妙蓮公園オープン。 市石油協同組合と「災害緊急車指定給油所に関する協定」を締結。 市民運動公園内に平和モニュメント設置。 古高町の下長遺跡から、儀杖と傾斜独立棟持ち柱付建物跡が見つかる。
平成 10年	1998	下之郷遺跡から弥生時代の9重の環濠(かんごう)を確認。(弥生時代中期) 守山警察署が金森町に移転。 守山市民病院の新病院が開院。 佐川美術館オープン。 守山駅東口エスカレーターと市営駅前東口自転車駐車が供用開始。 湖南広域行政組合発足。 市ボランティア観光ガイド協会発足。 守山市名誉市民・元内閣総理大臣宇野宗佑氏が死去。 佐川航空、市内郵便局、守山商工会議所建設部土木委員会と災害時の応援協定を締結。 駅前電線類地中化工事完了。 勝部町で新住居表示実施。(勝部一丁目～六丁目) 今宿町で新住居表示実施。(今宿一丁目～三丁目)

年 号	西 暦	記 事
平成 11年	1999	<p>甲斐市長、無投票で再選。</p> <p>下之郷遺跡から、全国で初めて完全な形で弥生時代の戦闘を物語る木製の盾が出土。</p> <p>第4次総合計画基本構想が議決される。</p> <p>守山ふれあい公園に砂入り人工芝使用のテニスコート2面完成。</p> <p>守山市民病院旧病棟が療養型病床群病棟としてリフレッシュオープン。</p> <p>伊勢遺跡の高床式建物跡で祭祀と政治一体から、分離過程を示す発見。</p> <p>市子育て支援総合計画「守山っ子ほほえみプラン」を策定。</p> <p>中山道守山宿景観整備協議会発足。</p> <p>守山中学校に市の施設初の柔剣道場が体育館とともに新築なる。</p>
平成 12年	2000	<p>中山道守山宿まちづくり基本構想をまとめる。</p> <p>市ほたる条例と市情報公開条例を施行。</p> <p>介護保険制度開始。</p> <p>平安女学院大学で初の入学式。(平成17年3月高槻キャンパスへ統合)</p> <p>市公文書館開館。</p> <p>第33回全国ホテル研究大会開催。</p> <p>市制施行30周年記念式典挙行。</p> <p>第4次市総合計画「もりやまレインボープラン2010」を策定。</p> <p>元氣かがやく守山市のつどい「うねりフェスタ2000」を開催。</p> <p>下之郷遺跡で方形区画溝建物跡を発掘。方形区画としては国内最古。</p> <p>守山っ子うねりフェスタ開催。</p> <p>野洲川立入河川公園に芝生広場とクレー広場完成。</p> <p>高橋尚子さんを迎え、第31回ほたるのまち守山ハーフマラソン開催。</p>
平成 13年	2001	<p>3市2町の「湖南地域広域行政推進懇談会」設置。</p> <p>すこやか通りバリアフリートイレ(吉身三丁目)完成。</p> <p>守山女子高校被服科・商業科最後の卒業式。</p> <p>守山市誌地理編を発刊。</p> <p>トレイ類の分別回収開始。</p> <p>びわこ地球市民の森がオープン。</p> <p>市内郵便局と市が、道路の破損や不法投棄などの情報提供「市民生活にかかる情報提供に関する協定書」に調印。</p> <p>「安全で安心なまちづくり条例」が施行。</p> <p>七夕まつりに代わり、市民手作りの祭り「フェスタMYOREN」開催。</p> <p>下之郷遺跡「外環濠の溝」西端に発見、約25ヘクタールの規模と考えられる。現地説明会を開催。</p> <p>合併問題検討特別委員会を市議会に設置。</p> <p>第9回世界湖沼会議守山セッション。</p> <p>『友好交流都市協定』を北海道登別市など全国5市と締結。</p> <p>伊勢遺跡で国内最大級の大型建物跡(弥生時代後期)を発見し、現地説明会を開催。</p>
平成 14年	2002	<p>下之郷遺跡が国指定史跡に。</p> <p>守山市交通バリアフリー基本構想策定。</p> <p>野洲川斎苑利用開始。</p> <p>石田デイサービスセンター利用開始。</p> <p>学校完全週5日制がスタート。</p> <p>県下初の大型児童センター「ほほえみセンター」がオープン。</p> <p>駅前総合案内所オープン。</p> <p>びわこ地球市民の森のつどいで1,600本を植樹。</p> <p>中山道400年祭記念仮装飛脚リレー大会。</p> <p>戸籍情報コンピュータシステムが稼働開始。</p>

年 号	西 暦	記 事
平成 14年	2002	<p>「みさき自然公園」がオープン。  住民基本台帳ネットワークシステムがスタート。  幸津川町下新川神社の「宗源宣旨」など3点を市文化財に指定。  ライズヴィル都賀山竣工。  三津川公衆トイレ完成。（守山三丁目）  市ホームページに携帯電話版ホームページを開設。  ららぼーと守山に市民サービスセンターがオープン。  播磨田東遺跡から金製空玉・ガラス小玉が出土。（古墳時代後期）  飲料用紙パックや廃蛍光管も回収開始。</p>
平成 15年	2003	<p>4代目市長、山田亘宏氏就任。  守山駅前東口公衆便所完成。（勝部町）  守山市誌資料編歴史年表を発刊。  速野幼稚園新園舎完成。  市内路線バスにノンステップバスを導入。  市コミュニティ防災センター、北消防署の新庁舎完成。  世界水フォーラムin守山開催。  駅東口広場「にぎわいの広場」エレベーター完成。  個人情報保護制度実施。  守山市誌地理編資料古絵図を発刊。  湖南開発事業団解散。  中山道守山宿に「町屋ふれあい館筆忠」オープン。  立入水源地整備工事完成。  野洲川川田河川公園がオープン。  市民参画制度「市民100人委員会」「パブリックコメント手続」を創設。  姉妹都市韓国公州市より呉英姫市長が来市。  住民基本台帳ネットワークシステム2次サービス開始。  古高・経田遺跡からほぼ完全な形の琴が出土。  住民票の写しなどの自動交付サービス開始。</p>
平成 16年	2004	<p>郵政公社より守山簡易保険総合レクセンターの建設計画中止の申し入れ。  欲賀遺跡で市内初の巫女形埴輪が出土。  河西幼稚園新園舎の開園式。  市の人口7万人を突破。  JR守山駅西口広場の再整備工事が完成。  平安女学院大学第1回卒業式。  安心ネットワークシステムの実組みスタート。  乳幼児の福祉医療費の無料化。（自己負担金を市独自で助成）  小学校低学年に「35人学級制」を導入。  「市誌資料古文書目録第1集」を発刊。  もりやま障害者プラン2004を策定。  守山市情報化（IT推進）計画を策定。  市民交流センター「さんさん守山」が市民活動の拠点として始動。  地域通貨「もーりー」スタート。  守山ほたるパークアンドライドを実施。  耳マークカードを発行。  木造住宅の無料耐震診断を実施。  新たな市民参画制度「地域行政懇話会」を開催。  笠原町の蜷江神社から県内最古の天部形立像が発見される。  守山市スポーツ振興計画策定。  一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定。  病後児保育を実施。</p>

年 号	西 暦	記 事
平成 16年	2004	<p>「少年赤十字団発祥の地」顕彰碑を建立。          吉身・小津・玉津・河西地区会館リニューアル工事を開始。          ユニバーサルデザインのまちづくり実践マニュアルを作成。          福井豪雨の被災地へ災害ボランティア。          守山市文化協会創立30周年。          一般廃棄物最終処分場が完成・供用開始。          第1回環境フェア（もりやま環境フェア2004）の開催。          環境センター内にリユースセンターを開設。          野洲川改修事業完成記念式典・記念碑建立。          公用車「循環型社会推進車」貸出しを開始。          新たな市民参画制度「おでかけ市長室」を開設。          びわこ横断エコバス運行を開始。          守山市次世代育成支援対策地域行動計画を策定。          健康もりやま21たばこ対策指針を策定。          下之郷遺跡から特殊な区画溝と建物跡を発見。          ユニバーサルデザインスポーツ体験会の開催。          デジタルコンテンツ「守山の昔ばなし」（電子紙芝居）4話が完成。          木造天部形立像など5件6点を新たに市指定文化財に指定。</p>
平成 17年	2005	<p>吉身・小津・玉津・河西会館も土日祝日開館。          びわこ地球市民の森ふれあいゾーンがオープン。          里道・水路などの法定外公共物が市の管理に。          世界の花火大会滋賀で台湾の花火3,000発打ち上げ。          県内初塚之越遺跡で縄文時代中期の有孔鍔付土器などが出土。          速野カナリヤ保育園が開園。          守山市誌考古編発刊。          ほたるの森資料館の来場者が10万人を突破。          石田配水場が完成。          カウアイ郡との姉妹都市提携30周年の記念植樹祭で、市長らが訪米。          「きめ細やかな指導の教育特区」の認定を受ける。          立命館とまちづくり協定を締結。          サイクル・エコフェアinもりやまの開催。          野洲川歴史公園サッカー場「ビッグレイク」がオープン。          守山みらい債を発行。          もりやま市民活動屋台村の開催。          焰魔堂遺跡から新たに墓3基見つかる。</p>
平成 18年	2006	<p>守山市誌歴史編、生活・民俗編発刊。          指定管理者制度導入(13施設)。          守山女子高等学校を学校法人立命館に移管、立命館守山高等学校が開校。          小学校低学年30人程度学級開始。          市指定ごみ袋の店舗販売開始。          近江妙蓮「平成の献上」。          「パディバレーボールびわ湖カップ2006」開催。          野洲川歴史公園田園空間センター(田園空間博物館)開設。</p>
平成 19年	2007	<p>山田市長、2期目再選。          立命館守山高校で第1回目の卒業式。          市民交流センター、駅前総合案内所、守山駅前コミュニティホール、もりやま          芦刈園を指定管理者による管理に移行。          びわこみみの里竣工。          若鮎保育園新園舎完成。          下之郷遺跡から弥生時代のメロンの仲間が出土。</p>

年 号	西 暦	記 事
平成 19年	2007	幸津川地蔵堂の木造地蔵菩薩坐像を市指定文化財に指定。 玉津小学校新校舎完成。 中洲幼稚園新園舎完成。 日本スポーツマスターズ2007びわこ大会。 佐川美術館樂吉左衛門館オープン。 琵琶湖境界の策定なる。(官報告示) 市民体育館リニューアルオープン。 第2回守山みらい債発行。 はすねだ保育園新園舎完成。
平成 20年	2008	守山名誉市民森口華弘氏が死去。 近江中山道宿場会議守山大会が開催される。 野洲川斎苑葬祭棟が完成。 国内最古の和韓混淆鐘見つかる。 「おうみんち」竣工。 守山市景観計画・景観条例を制定。 災害救援型自動販売機の設置。 中山道街道文化交流館がオープン。 守山市誌特別編「守山城物語」発刊。 まちづくり会社「株式会社みらいもりやま21」が発足。 第21回全国スポレク祭が開催される。 下之郷町で新住居表示実施。(下之郷一丁目～三丁目) 生涯学習・教育支援センターがオープン。
平成 21年	2009	市民病院でオーダーリングシステムによる予約診断を開始。 玉津こども園の開園。 定額給付金もりもりクーポン券を発行。 ごみ袋の料金等の改正。 吉身東町慈眼寺の薬師三尊像(市文化財)が修復を終えて還座。
平成 22年	2010	図書館リニューアルオープン。 市民参加と協働のまちづくり条例を制定。 路上喫煙の防止に関する条例を制定。 小津こども園開園。 水道サービスセンターを開設。 はすねだ保育園、速野カナリヤ保育園がこども園に移行。 守山市次世代育成支援対策地域行動計画(後期計画)を策定。 放課後児童クラブ「カナリヤ第三クラブ」開設。 市制施行40周年記念式典挙行。 中山道守山宿にぎわい広場オープン。 下之郷史跡公園がオープン。
平成 23年	2011	市民体育館多目的アリーナ竣工式。 5代目市長、宮本和宏氏就任。 守山市消防団が最高栄誉「まとい」の受賞を報告。 東日本大震災を受けて職員の派遣や市民をあげた支援の輪が広がる。 第5次守山市総合計画『「わ」で輝かせよう ふるさと守山』がスタート。 近江兄弟社もりの風こども園開園。 ひなぎくこども園竣工式。 守山小学校・幼稚園新校(園)舎完成。 和歌山県田辺市へ職員を災害派遣。 えんまどう公園(焰魔堂公園)完成。 市政報告会の実施。

年 号	西 暦	記 事
平成 24年	2012	<p>暴力団排除条例施行による守山警察署との暴力団排除に関する連携についての合意書合同調印。</p> <p>伊勢遺跡が国の史跡指定を受ける。</p> <p>歴史文化まちづくり館(守山宿・町家“うの家”)オープン。</p> <p>国道8号線野洲栗東バイパス整備促進期成同盟会の設立。</p> <p>長野県飯田市、熊本県水俣市と災害時相互応援協定を締結。</p> <p>こども園を含む幼稚園における3年制保育全園実施。</p> <p>家庭的保育事業(保育ママ)2施設の開所。</p> <p>地域包括ケアシステムスタート。</p> <p>「ラ・フォル・ジュルネびわ湖2012」守山プレイベント「ルシオール アートキッズフェスティバル」開催。</p> <p>中学校スクールランチ制度の導入。</p> <p>すこやかチャレンジ制度、いきがい活動ポイント制度の実施。</p> <p>ハローイングリッシュプロジェクト事業をモデル校として小津、玉津、中洲の幼稚園・こども園と小学校で実施。</p> <p>観光レンタサイクルがスタート。</p> <p>被災地支援へ！岩手県大槌町へ職員派遣。</p> <p>中心市街地活性化交流プラザ(あまが池プラザ)およびあまが池親水緑地オープン。</p> <p>中心市街地交流駐車場オープン。</p> <p>赤野井湾再生プロジェクト発足。</p> <p>重症心身障害者通所施設「たいよう」の開設。</p> <p>LED防犯灯緊急整備事業の実施。</p> <p>市民文化芸術祭の開催。</p> <p>安全で安心なまちづくりネットワークに関する協定締結。</p> <p>放課後等デイサービス「もりじろう」の開設。</p> <p>守山消防団サンレディース分団消防操法県大会優勝。</p> <p>もりやま市民共同発電所推進協議会設立。</p> <p>デマンドタクシー(モーリーカー)運行開始。</p> <p>災害時要援護者登録制度がスタート。</p>
平成 25年	2013	<p>セルバ守山地下にぎわい創出事業にかかる公募型プロポーザル方式により提案業者を募集。</p> <p>守山中学校校舎改築基本設計・実施設計委託業務を委託する設計者を公募型コンペ方式により選定。</p> <p>市民参加と協働のまちづくり推進会議から「新しいまちづくりの仕組み」に関する提言を受ける。</p> <p>市民運動公園再整備基本構想(案)を踏まえて、市民運動公園のセントラルパーク化に向けた取組みへ。</p> <p>もりやま市民ソーラー1号機(守山中学校)竣工。</p> <p>24時間対応の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービス開始。</p> <p>市民病院、経営形態を地方公営企業法の全部適用に移行。</p> <p>第78回近畿市議会議長会定期総会を開催。</p> <p>JR守山駅ホーム上屋延長工事完成記念式典を実施。</p> <p>もりやま食とまちづくりプロジェクト設立。</p> <p>赤野井湾で生育域を拡大している外来水生植物オオバナミズキンバイを駆除。</p> <p>守山まるごと活性化プラン検討委員会を開催。</p> <p>市民対象の本会議傍聴研修の実施と送迎バス発車。</p> <p>環境施設を更新するに当たり環境施設対策市民会議を設置。</p> <p>滋賀県立大学と、地域活性化と人材育成を目的に協定を締結。</p> <p>守山の都市ブランド化の取組をスタート。</p> <p>医療・環境・健康産業フェアの開催。</p> <p>守山市・野洲市と守山野洲医師会、草津栗東守山野洲歯科医師会、守山野洲薬剤師会が災害時の医療救援活動に関する協定を締結。</p>

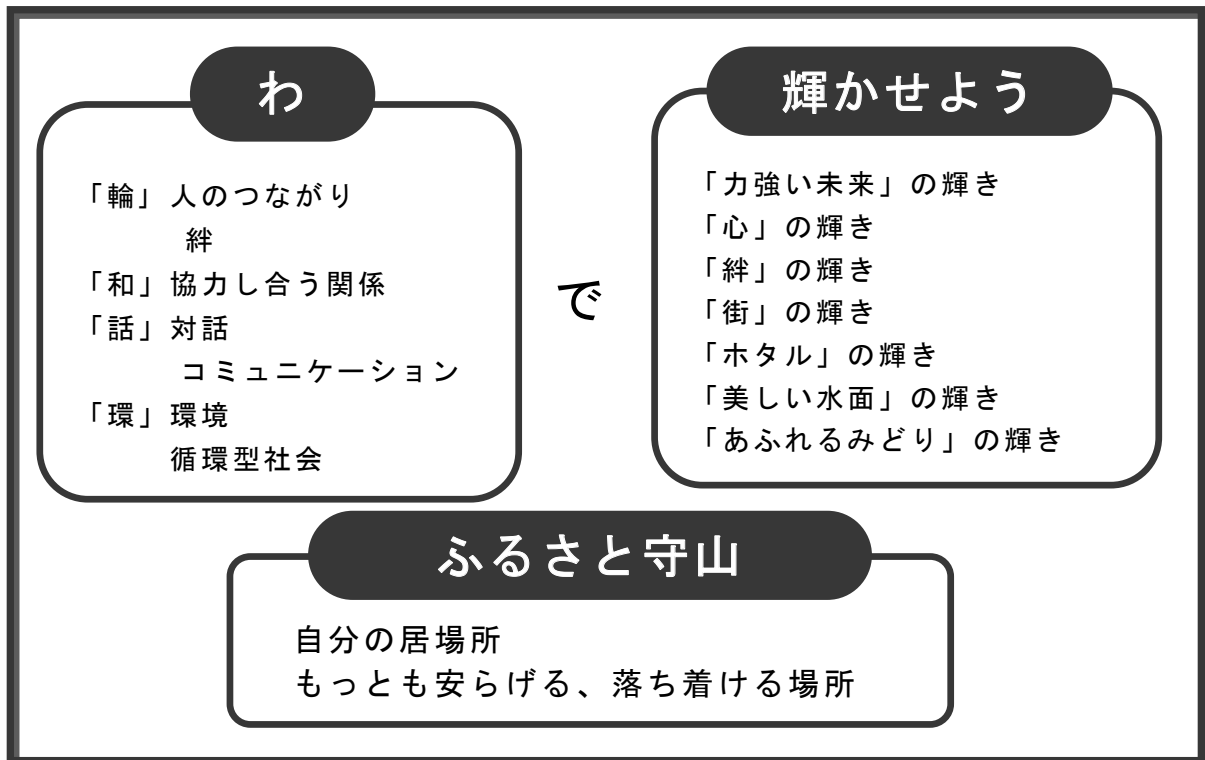
年 号	西 暦	記 事
		<p>第21回全国女性消防操法大会に守山消防団サンレディース分団が出場。  市の人口8万人到達。  勝部4号雨水幹線完成。  岩手県大槌町ボランティアバスツアーを開催。  浮気保育園園舎改築基本設計・実施設計委託業務を委託する設計者を公募型コンペ方式により選定。  守山北中学校地震補強・大規模改修工事完成。</p>
平成 26年	2014	<p>ラウンドアバウト社会実験開始。  ブランドメッセージ・ロゴデザイン発表。  セルバ守山の地下に「チカ守山」オープン。  在宅医療・サポートセンタースタート。  守山まるごと活性化プランを策定。  ルシオール アート キッズ フェスティバル開催。  市民球場リニューアルオープン。  びわこ地球市民の森に大型遊具完成。  野洲川改修の暫定通水から35年目を迎える。  北川原公園オープン。  交通死亡事故ゼロ350日達成。  オオバナミズキンバイ駆除活動実施。  吉身保育園分園がオープン。  終バス23時本格運行。  守山市・福生市・登別市の子どもスポーツ交流大会開催。  ドリームベースボールの開催。(村田兆治氏、金田正一氏ら)  電気自動車軽トラック貸出開始。  琵琶湖大橋開通50周年記念イベント開催。  もりやま健康フェスティバル開催。  大庄屋諏訪屋敷まつり、伊勢遺跡まつり、下之郷遺跡まつりの開催。  医療・健康・環境産業フェア開催。  中洲幼稚園創立50周年記念式典の開催。  宮本市長、2期目再選。</p>



## 第5次守山市総合計画について

総合計画とは、市のまちづくりのあらゆる分野を網羅した計画であり、まちづくりや市政運営の指針となるとともに、市民参画の計画としても位置付けられます。

- 計画期間 平成23年度～32年度
- 将来人口 84,000人
- 将来の都市像 「わ」で輝かせよう ふるさと守山



### ● 計画の特徴

この計画は、計画全体が「まちづくりの主役」である市民の皆さまをはじめ、自治会やNPO、民間事業所、行政などが同じ視線でまちづくりに取り組むための共通の目標となるよう、市内のさまざまな立場の人のご意見をいただきながら長い時間をかけて策定してきたものです。

この計画を進めるにあたっては、人権・教育・文化、保健・福祉・医療、産業・都市基盤、環境・自然のそれぞれの取り組みに対し、『「わ」で輝かせよう ふるさと守山』の実現のため、上記の4つの「わ」の視点を大切に、市民をはじめみんなが取り組む具体的な目標を設定することで、市民参加と協働のまちづくりの推進をめざしています。また、まちづくりの成果や進捗状況を適切に把握・評価・反映できるよう、具体的な数値目標を設定することで、市民の皆さまへ達成度が明確になるよう工夫しています。これらを通し、現在守山に住む人や、将来住む人にとっても、守山というまちに誇りと愛着をもち、安らぎが得られ、自分のふるさとと感じられるようなまちづくりをめざしていきます。

# まちづくりの基本方針

## 1 心が輝く 学びのふるさとづくり

まちづくりは人づくりであり、人づくりの根幹は様々な学びの場であるといえます。子どもたちが「生きる力」を備えながらたくましく成長し、また、すべての市民が生涯にわたって伝統に学び、人権をおもんじるまちづくりを進めます。

様々な学びの機会により心が美しく輝くような、学びのふるさとづくりを進めます。

## 2 絆で輝く 安心のふるさとづくり

赤ちゃんから高齢者まで、また障害の有無にかかわらずすべての市民が生涯を通して健やかに過ごせるために、福祉・保健・医療が連携したまちづくりを進めます。

また、自助・共助・公助の考え方を踏まえ、ふるさと守山で支え合いながら誰もが心身の安らぎと幸せを感じることができ、絆で輝く安心のふるさとづくりを進めます。



## 3 まちが輝く個性と 安全のふるさとづくり

ホタルや琵琶湖に代表される自然環境や中山道などの歴史資源等、守山市の特性を活かし、その恵まれた環境でつくられる安心の産物づくりを内外にPRするとともに、活力のある産業の振興を進めます。

また、湖南地域の中核都市として都市機能を高めるとともに、安全で快適な生活環境づくりを進めます。

まちが輝く個性と安全のふるさとづくりを進めます。

## 4 水辺とみどりが輝く 潤いのふるさとづくり

人と自然の関わりを見直し共生社会を実現していくため、水辺や緑地の持つ役割を最大限に生かしたまちづくりを進めるとともに、環境に配慮した循環型社会の構築を進めます。

守山市の美しい水とみどりがいつまでもきらきらと輝き続ける潤いのふるさとづくりを進めます。

## 守山市歌

### 1. 明けゆく空に 雲晴れて

紫におう 近江富士  
若さと意気と 人の和の  
ああ よろこびの理想郷  
住みよい街よ 守山市  
むつみかわして 築こうよ

### 2. さざなみ清く かがやいて

みどりの沃野 穂のみのり  
働く者の 歌ごえに  
ああ 花ひらく商工業  
伸びゆく街よ 守山市  
力あわせて 興そうよ

### 3. 琵琶湖大橋 日にはえて

平和を招く 灯籠崎  
文化の装い 新しく  
ああ あこがれの観光地  
栄える街よ 守山市  
明日をめざして 進もうよ

## 市の花 (妙蓮)



昭和40年、県の天然記念物に指定された中町の西隆寺大日堂に咲く妙蓮は紅色で一茎に数多くの花をつけます。

花びらの数は3,000枚から5,000枚にも達する珍しいもので、歴史的にもゆかりのある花です。

平成9年6月には保護育成をめざして近江妙蓮公園が完成しました。

(昭和50年に市制施行5周年を記念して制定)

## 市の木 (クスノキ)



勝部の宮の森で今もうつ然たる巨木が見られるクスノキは、常緑で、わが国に産する樹木のうちで最大になるものです。葉は長楕円形革質で佳香があります。

そして、この若葉が美しいのは黄白色の小花をつける5月頃です。成長も早く、雄大で力強い木です。

(昭和50年に市制施行5周年を記念して制定)